

研修日報

令和 8 年 7 月 15 日

所属	肥後橋	氏名	松田 彩花
本日の目標	ホノルルホワイトニングについて知る。		
研修医院	肥後橋		
研修内容	・ホノルルホワイトニングについて 特徴や使用手順についての説明 ホノルルホワイトニング実習 ・ホノルルホワイトニングペーストの紹介 ホワイトニング歯磨剤(ジェル)		
成果/感想	ミエ先生から直接ホノルルホワイトニングの特徴や使用方法など教えていただき、今まで使用してきても知らなかったことがあったので、貴重な時間となりました。 ホワイトニング剤の配合により白くなる+知覚過敏予防の効果があることを知り、患者様に勧める際にもオススホワイトニングではこみやさい前にアコースティックなりました。また、使用法も簡単でシンプルであり、ケアタイムが短いことは、患者様にとっても負担にとっても喜ばしいことであり、気軽に始めることができると感じました。 ホワイトニング中はヘッドレストと首に隙間がある人にはタオルをはさんで隙間を無くしてあげると首が痛くなり、というアドバイスをいただき、実際に患者様からも首が楽になった声も聞けたので、そのような配慮にも気を付けたいと思いました。		
備考			

研修日報

令和 8 年 7 月 17 日

所属	肥後橋	氏名	林 愛子
本日の目標			
研修医院	肥後橋		
研修内容	ホトリルホワイトニングについて。 ・薬剤 3 種類入っている ↳ 15% 過酸化水素 6% 過酸化尿素 3% 硝酸メソク 特別な濃度 " しめにくい ・1年 26 回分、3ヶ月を目安に使う。 ・苔の除去効果がよい。 ・シェード確認時は、青のエポキシの効果がよい。		
成果/感想	ホトリルホワイトニングについて、薬剤の特徴や、舌や粘膜についても、ビタミンEオイルの入った綿棒を使ってぬぐうと見えやすくなることを学ぶことができた。 ホトリルホワイトニングは、オキシホワイトニングほど効果は短時間で終わるとは、お値段も高価で、1ヶ月、本物の過酸化水素を使っているのと比べると魅力的だと学ばれた。 実際に、ホトリルホワイトニングを体験すると、施術後に歯が白くなったことを実感し、患者さんの気持ちも体験すると学ばれた。 今回学んだ知識と実際に体験したこととを活かし、患者さんに安心して施術を受けていただくように頑張りたい。		
備考	セミナーを開いたばかりなので、これから学ばせてほしい。		

研修日報

令和 8 年 7 月 17 日

所属	肥後橋	氏名	増田 実希
本日の目標			
研修医院	肥後橋		
研修内容	ホ/ル/ルホワイトニングについて		
成果/感想	今回のセミナーを受講し、ホワイトニングは歯を白くするだけではなく、患者さんの自信にもつながる治療だと改めて感じました。患者さん一人ひとりの希望やライフスタイルに合わせて提案し、施術内容や注意点を分かりやすく説明することができるよう、今回のセミナーでより理解が深まってよかったです。 また、ホワイトニングジェルの配合成分や濃度にもこだわって開発をされていることと知り、安全性と効果の両方を考慮した製品づくりがされていることが印象的でした。成分にこだわっているからと、患者さんにもより自信をもっておすすめしたいホワイトニングだと感じました。 さらに、患者さん自身が施術を行うシステムのため、自分や患者さんの負担が軽減されるため、より患者さんにも気軽にうけつもらえる点も印象的だと感じました。		
備考	セミナーを開いていただきありがとうございました。		

研修日報

令和 8 年 7 月 16 日

所属	肥後橋	氏名	本田 里乃
本日の目標	セルフホワイトニングについて知識を高める。		
研修医院	みえ先生		
研修内容	<ホームホワイトニングについて> 15% 過酸化水素、6% 過酸化尿素、3% KNO₃ 配合で 1ヵ月ほどかかる <施術の流れ> ① シールドガイドを歯の色をフェック② ビタミンE配合のワックスを塗布し唇を保湿 ③ リトラクターを装置に歯の面をフィッシュなで拭いておく④ 薬液を歯に塗布 ⑤ LEDライトで15分照射⑥ ティッシュで拭いておく⑦ シールドガイドの色をフェック ビタミンEオイルは口唇部分にはよく保護のために歯肉辺りまで塗布しておく 薬液が歯肉についてしまった場合は余ったオイルをぬぐうとやめられる。 唾液が歯肉に入ると8分×2で照射に間に合うようにOK! (ナフーは歯肉にしみこむとむずかしい) ご年配、グレースード、切端が透明の人は白くみえにくい(効果を感ぜにくい) ビフォーアフターの写真はグレースか暗めの壁でとるとわかりやすい。 エプロンを青の布で本来の色がわかりやすい。シールドは濃い色からスライドさせてみる。		
成果/感想	今回のセミナーでは、セルフホワイトニングに関する知識だけでなく、施術効果をより引き出すためのポイントや、シェード撮影時の工夫についても学ぶことができました。患者様に効果を実感していただくためには、技術だけでなく写真撮影や説明の工夫も重要であることを改めて理解しました。 また、患者指導では生活習慣を一方的に制限したり、無理に改善を求めたりするのではなく、患者様の生活背景や考え方に寄り添いながら、少しずつ改善へ導くことが大切であると学びました。(セミナーの質問時間で仰っていただいたことをふまえて) 今後は1人1人に合わせた無理のない指導とに掛けていきたく思います。そして、今日の学びを実践に活かし、患者様に安心して施術を受けていただけるように、ひとつひとつの工程を丁寧にやっていきたいと思っています。		
備考			